

◇現代社会と青年◇

格好いい生き方、

粹な生き方



むろだて いさお
室館 勲

株式会社潮流社 社長
株式会社キャリアアコンサルティング
代表取締役社長

格好いい生き方、粹な生き方とはどんな生き方でしょう。無数の答えがあります。目の前の人のために惜しまず尽くすことや、見返りを期待せずに自分の正義を貫けることもその一つです。若者達はやはり、格好いい、粹な生き方に憧れます。

先日、数名の学生との会食が、続けて二度ありました。初日と二日目で全く違う雰囲気の会食になったことが特徴的でした。初日は男性が多かったこともあり、ビジネスや異性に関する質問が多かったです。いつの時代も若者は「お金持ちになりたい」「異性にモテたい」のなどと、微笑ましく思いました。ただ、現役の経営者に訊く話としては、いささか軽い質問で終了しました。

一方、二日目は鋭い質問が飛んできました。「今後の日本の経済発展に関して」「なぜ室館さんは『くにまもり』を志したのか」など。私も昔を思い出してとことん語ります。二十代で先輩から靖國神社の存在を教えてもらった話。大東亜戦争で

国を護るために戦った軍人の話。皆さんと同年で特攻隊として飛び立った人の話や、残した遺書の話など。一同、酒を呑むのを忘れ、目に熱いものが浮かんでいました。初日とは打って変わって、感動の懇親会となりました。

翌日、学生からお礼の連絡をいただきました。一夜経っても冷めやらず「自分の人生も何らかの形で公に尽くしたい」「人のため、国のために生きるのはカッコいい」など、何かのスイッチが入った方もいました。若者は恋愛などの楽しい話も好きですが、一方ではこの様な、人生に大きく影響を与えるような熱い話も望んでいるのではないかと感じます。

昨今、経営者の方々とお話しすると、多くの経営者は若者達に合わせ過ぎて、媚びているように感じます。自分の本音を熱く語ることを避けているように思います。リーダーである社長、幹部の皆さん。皆さんが積み重ねてきた情熱は、恥ずかしいものではないはず。懸命に自分を磨き、世のため人のためにと働いた話は、若者にもヒットすると思います。命懸けで自分の仕事に費やしてきた時間の話を、もっと遠慮なく語ってみてはいかがでしょう。骨のある若者はたくさんいます。良い若者がいないのではなく、人生を本気で語っていない、大人の方に問題があるのです。私はこれからも、将来の日本を背負う若者達が「自分の事だけではなく、国益をも考えられる」ように、育成し輩出していく覚悟です。